

平成30年度市立七二会公民館運営審議会 会議概要

- 1 日 時 平成30年7月26日(木) 午前10時～11時40分
- 2 場 所 七二会公民館 2階 レクリエーションルーム
- 3 出席者 運営審議会委員7名、事務局2名
- 4 委嘱書伝達 館長より伝達(任期途中退任者の補充選任者5名)
- 5 会長職務代理者の選任について
委員自己紹介
小池会長は石坂委員を職務代理者として指名する。
- 6 審議事項
 - (1) 平成29年度七二会公民館事業報告について
 - (2) 平成30年度七二会公民館事業の重点目標について
 - (3) 平成30年度七二会公民館事業計画について
 - (4) その他(市立公民館のあり方について)

7 概 要

事務局から(1)～(4)について一括説明し、承認された。
なお、委員から次のような質問・意見等があった。

<質疑・意見等>

委員：重点目標にある「地域の中の講師・指導者の発掘・把握」の実績は。

事務局：昨年度の講座では、料理教室(小学生講座含む)の講師はすべて地域在住の方であり、内容も郷土食だけでなく本格洋食などもあって非常に好評であった。本年度はまだ実績はないが、これまで依頼している方以外にも講師を依頼できる方がいないか、情報収集に努め、講座開催につなげていきたい。

委員：小学校では、地域で盛んだった養蚕を学ぶため、地域の人に道具や場所を提供してもらい、実際に蚕を飼っている。地域の歴史を学ぶ良い機会と捉えている。

委員：中学校では、総合学習で公民館サークルの参加者に講師をお願いし、陶芸を学んでいるグループと、公民館の環境整備(花壇作り)を自発的に行っているグループがある。他にも地区の神楽を練習したり、おやき作りや史跡巡りなど、地域の人から教えてもらいながら多様な学びを行っている。公民館と学校との連携はこれからも進めていきたいと思う。

委員：共催事業であるバレーボールや野球の大会、運動会及び文化芸能祭などの地域住民が参加する行事について、人口減少に伴う参加者の確保策は。

事務局：特に球技大会については、地区によって人口が少ないため、参加できないところもあるが、参加資格を地区出身者や親戚まで広げたり、バレーボールは最初9人制だったのを6人制にし、かつローカルルールを設けてできるだけ参加しやすくしている。文化芸能祭についても、世代間のつながりが薄くなって、最近はみんなで楽しめる内容が少なくなってきた。

委員：地域公民館行事も、人口が減少していてかつてのような賑やかさが無い。特に子供の参加が少ないので、これまであまり重視していなかった育成会との連携が必要だと感じている。